

社会資本整備審議会 道路分科会 令和2年度 第3回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

令和3年3月9日（火）15：00～16：30

2. 場 所

広島合同庁舎2号館6階 共用7号会議室

3. 出席者

<委員>

◎渡邊 ^{わたなべ} ^{かずなり} 一成 福山市立大学 都市経営学部 教授

^{いいの} ^{きみお} 飯野 公央 島根大学法文学部 准教授

^{はしもと} ^{せいじ} 橋本 成仁 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授

^{ふくだ} ^{きょうこ} 福田 京子 地域づくりネットワーク 代表

敬称略、◎委員長

4. 議 題

新規事業採択時評価について

一般国道191号（山陰自動車道）^{ますだ} ^{たまがわ} 益田・田万川道路

一般国道191号（山陰自動車道）^{おおい} ^{はぎ} 大井・萩道路

5. 結論

・一般国道191号（山陰自動車道）^{ますだ} ^{たまがわ} 益田・田万川道路について、新規事業化は妥当とする。

・一般国道191号（山陰自動車道）^{おおい} ^{はぎ} 大井・萩道路について、新規事業化は妥当とする。

6. 委員からの主な意見

○一般国道 191 号（山陰自動車道）益田・田万川道路

- ・事業費増加リスクへの対応についても考慮されており、丁寧な検討がなされているが、事業化後の費用増加にも留意されたい。またコスト削減の取り組みを含め、今後対外的に説明することも重要である。
- ・引き続き、新設道路の橋梁区間等における強風対策や並行現道における防災対策について、必要に応じて検討されたい。
- ・完成 2 車線のため、必要に応じて付加車線の設置を検討すること。
- ・昨今の激甚化・頻発化する災害への備えとしても、当事業は必要。

○一般国道 191 号（山陰自動車道）大井・萩道路

- ・空港アクセスの強化による観光振興や今後増加が想定される救急医療機関への搬送を支える効果などが期待されることから、当事業は必要である。
- ・今後、詳細な設計を行う際には、トンネル内の事故対策や IC 周辺における案内誘導について、必要に応じて検討すること。
- ・広域周遊観光に必要なネットワークである山陰道以外の道路についても、関係機関と連携して、機能強化に努めることが必要である。